



日本学術会議公開シンポジウム

「低炭素・健康な生活と社会の実現への道筋」

- 主催：** 日本学術会議 環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同
低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会/
健康・生活科学委員会
- 共催：** 一般社団法人日本建築学会、公益社団法人土木学会、公益社団法人
日本環境共生学会、公益社団法人空気調和・衛生工学会（順不同）
- 後援：** 低炭素社会推進会議
- 日時：** 平成29年6月23日（金）13：00～17：00
- 定員：** 300名（定員に達し次第締切）
- 参加料：** 無料

パリ協定が発効して、世界は今世紀後半に温室効果ガス排出の実質ゼロとすることを目指し、持続可能な開発目標SDGsが採択されて都市の在り方についての目標・指針が掲げられた。我が国でも地球温暖化対策計画が閣議決定されたことを受け、省エネルギー化、低炭素化は、建築・交通・都市の空間設計にかかわるステークホルダー全員の責務である。加えて、高齢化の進展下でこれを達成しなければならない。アジアについても、成長が継続しつつ、なおかつ我が国以上の速度で高齢化が進行する一層厳しい状況にある。

本分科会（低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会）では、低炭素・健康社会の実現を目指して、20世紀型の大量生産・消費のパラダイムの下にもたらされた経済成長、環境負荷増大、健康被害という流れを変えて、充足文明への転換による低炭素化と健康で質の高いQOLを両立させるための方策を探ることを目的とした提言をまとめた。本シンポジウムでは、その提言案を関係者に紹介し、その実施可能性についての討論を行い提言の最終的なまとめに資する。

会場：
日本学術会議講堂
東京都港区六本木7-22-34
東京メトロ千代田線乃木坂駅5番出口徒歩1分



プログラム

司会 坂井 文（日本学術会議連携会員、東京都市大学教授）

13:00 **あいさつ**

花木啓祐（日本学術会議副会長、東洋大学教授）

13:05 **シンポジウムの趣旨**

吉野 博（日本学術会議第三部会員、東北大学総長特命教授）

13:15 **セッション1 新しいライフスタイルと行動変容の動機づけ**

報告：坂井 文（前出）

討論：中上英俊（日本学術会議連携会員、住環境計画研究所代表取締役会長）

高田光雄（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授・京都美術工芸大学教授）

仙田 満（日本学術会議連携会員、放送大学客員教授）

環境省地球環境局地球温暖化対策課、国土交通省住宅局住宅生産課

14:00 **セッション2 成熟社会のための低炭素・健康都市のデザイン**

報告：林 良嗣（日本学術会議連携会員、中部大学教授）

討論：梅干野晁（日本学術会議連携会員、放送大学教授）

南 一誠（日本学術会議連携会員、芝浦工業大学教授）

森本章倫（日本学術会議特任連携会員、早稲田大学教授）

国土交通省都市局都市計画課、国土交通省鉄道局都市鉄道政策課

14:45 **セッション3 住宅・建築の低炭素対策と創エネの加速化**

報告：田辺新一（日本学術会議連携会員、早稲田大学教授）

討論：柏木孝夫（日本学術会議連携会員、東京工業大学特命教授）

小玉祐一郎（日本学術会議連携会員、神戸芸術工科大学名誉教授）

伊香賀俊治（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学教授）

国土交通省住宅局住宅生産課、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課

15:30-15:40 休憩

15:40 **セッション4 総合討論**

司会：林 良嗣（前出）、吉野 博（前出）

コメンテーター：米田雅子（日本学術会議第三部会員、慶應義塾大学特任教授）

福井秀夫（日本学術会議連携会員、政策研究大学院大学教授）

那須民江（日本学術会議第三部会員、中部大学教授）

総括：村上周三（日本学術会議連携会員、建築環境・省エネルギー機構理事長）

17:00 閉会

申し込み方法・連絡先

「日本学術会議・健康な生活と社会の実現シンポジウム」と明記の上、御氏名、御所属をメールにてお送り下さい。受講票はお送り致しません。定員に達した時のみご連絡致します。

scjsympo@gmail.com （担当：坂井文）